



THE REVIVAL



THE REVIVAL
ELECTRIC GUITARS &
ELECTRIC BASS GUITARS
SPECIFICATION CATALOGUE.

ELECTRIC SOUND RESEARCH GROUP



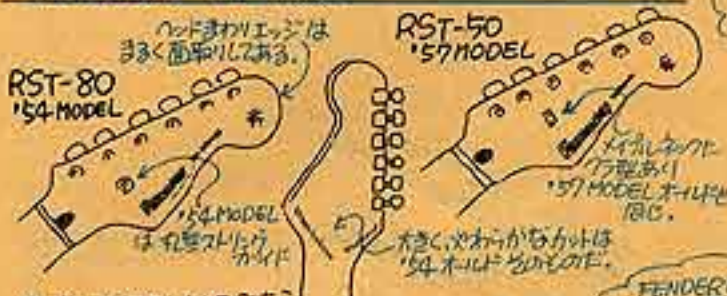
(株) フェルナンデス

東京：〒161 東京都新宿区下落合2-14-26 Tel.03(950)8141(代)

大阪：〒531 大阪市大淀区中津8-9-9 Tel.06(458)2245(代)

Let's Study "The Revival" RST Series.

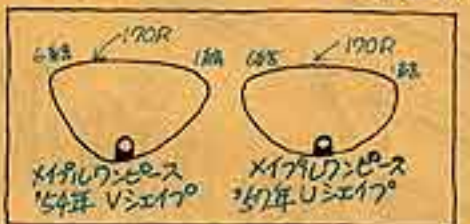
★オールドに於ける年代別の個性が明確に出た!!
4弦17フレットのオールドネック。



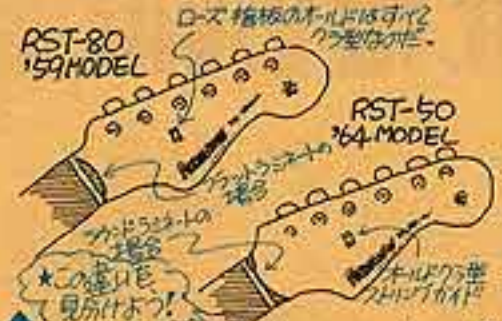
★54 MODELと57 MODELのネックの個性は見てほしい!!
★指板のラールは170R!

▲'54 MODELと呼ぶなら、まずこのヘッドウイングの加Iを見なくてはダメ。このRST-80-'54は、FENDER '54 MODELとまったく同じ。大きな丸味のあるシェイプが加Iしている。また、丸のヘッドエッジ部も丸味のあるオールドカット。この加IはLeo Fenderが、キーエッジのFreddy Tavaresの協力を得て、1953年最初に制作した時から2年間の生産された。エボニーメッキを施した。他社のコピーモデルは、こまごま2Uなうろ、丸味を削いで見せたい。この加Iの効果を無視しては、'54 MODELとはいえないのだ!
このヘッドストックにはFENDER '54 MODELと同一形状の丸型ストリンガイルドが、オールドと同じ位置にシヤウトされている。フェルナンデスのウラフマンによるバックの木工技術は、'54 MODELの個性をさらに明確にしているのだ。

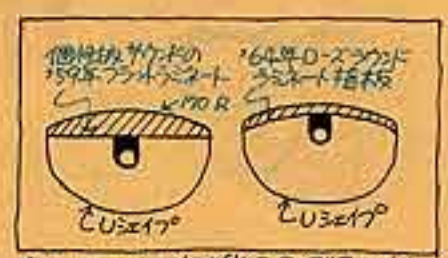
FENDER OLDE 170 R仕様。このヘッドの170 R仕様のオールドネックのネックには、他社のものは130 R、200 Rを施している。丸味はオールドスタイルのいいところを2倍しているのだ!



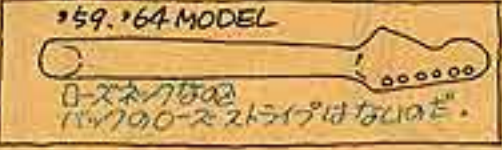
▲'54年 Leo Fender は Vシェイプと Uシェイプの2種類のメイプルネックを生産した。その中でフェルナンデスのスペシャリスト達によって、特に仕上げられたのが、'54年8月生産のVシェイプ、メイプルネックだった。RST-80-'54は、このネック形状をカンパニーに再現。そのグリップ感、フレット間の距離、そして、バックのバランスを再現。Leo Fender が究極のグリップのバランスのヒミツは、フィンガーボードのアーチ。丸味、Vシェイプの頂点の位置にあるのだ。フェルナンデスは、この170Rのメイプルネックに再現。これはフェルナンデスと、他社のコピーの間に170 Rより大きな差がある。丸味には、2倍の丸味がある。重要なのは、Vシェイプの頂点の位置がセンターより16%前後にずれた位置に設定している。他社の200Rには、センター位置を21%、24%をセンターワークが22%というところがある。また、このRST-80の基本ボディは、フェルナンデスが考案した170Rのメイプルネック、Uシェイプを完全に再現している。同時に、ストリングガイドも形状に設計変更されている。



▲'54 MODELと個性の差は明確に表れる。バックのメカニクに出現したローズフィンガーボードネック。Leo Fender が新たな設計思想のもとに開発。それは、他社の、かつての設計に倣ったモデル。フェルナンデスのスペシャリスト達によって、仕上げられたのが、ローズメイプルとフラットにラミネートしたネックの1959年10月生産のモデル。ローズフィンガーボードの1964年モデルは、基本ボディには、'54モデルと同一だが、'59年 Leo Fender が設計変更した通りに、ヘッドエッジに微妙な丸味を付けた。スプリットヘッドトップのウイングのカットは、フェルナンデスの技術と木工技術の微妙なバランスを表現している。ストリングガイドは、'57年にLeo Fender がU型に設計している。この'59 MODEL、'64 MODEL 8フレットのU型が170Rカットされている。

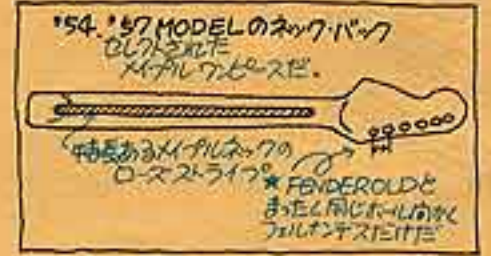


▲Leo Fender が始めたローズフィンガーボードネックを設計したのが、この'59年の中にもモデルだ。厚手のローズ指板と、メイプルネックをフラットにラミネートしたUシェイプネック。フェルナンデスは、1959年10月生産のものを最初に仕上げ、1964年に再現。これがRST-80-'59だ。この特徴ある厚手のローズ指板により、Leo Fender が考案する、'59 MODELのローズネックサウンド、Uシェイプネックを見事にリバイバルさせた。トラスロッドはリアキャブレットタイプは、ネック上部から色とりどりの指板下にシヤウトされている。'54 MODELと'57 MODELのネックは、170Rの2ストライプ、ヘッドのローズポイントはない。また、1964年 Leo Fender はローズネックに新たな個性を持たせた。それがRST-50-'64。ローズにラールを付けたウラフマン指板は、フェルナンデスのバックの技術とラミネートはカンパニーだ。ローズ材の厚みの変化により、サウンドは微妙に異なる。ネック形状は、'59 MODEL 同様 Uシェイプだ。

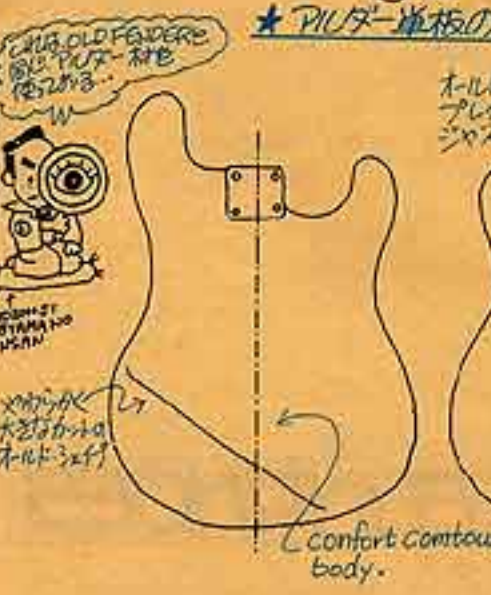


▲'59、'64 MODEL
ローズネックのバックのローズストライプはないのだ。
ニッケルシルバープレート
高さ 0.97mm
70%のオールド仕様
FENDER OLDE
オールドローズ
ローズポイント
'59、'64 MODELの特有な
ウラフマンのラール
'59、'64 MODELの
ヘッドは、高さ3.3mm
11.5mm、アジャスターの調整は、フェルナンデスの
'54、'57 MODELは、170Rのローズ材のオールド
ローズ材が、ラールを施している。
ローズポイントのラールは、170R。

▲トラスロッドのセッティングは、外から見えないけれど、この部分にあり。フェルナンデスは、従来の手作業よりも、Leo Fender の設計思想を受け入れ、シヤウトを2倍の長さから3倍に、このようにしている。仕上げたのが、このようにシヤウトが、いい物になる。ネック強度、サウダに、驚異的がある。アジャスターも、フェルナンデスと同タイプを新たに設計。この部分に、170Rは、木下島、フレット形状に、170Rは、Leo Fender が1953年最初に制作した時から使用している。通常の2%幅、高さ0.97mmの同仕様のもの。オールドが、従来の時代のものは、ある程度のスリットがない。オールドコピーは、このように使用している場合もある。オールドプレイヤーは、絶対に見逃さなければ!



▲'54、'57 MODELのネックバック
仕上げられた
メイプルネック。これは、
特徴あるメイプルネックの
ローズストライプ。
★FENDER OLDEと
まったく同じに、丸味を
フェルナンデスに付けた。



★ピルダ単板の COMFORT CONTOURED BODY をおけば、オールドサウンドは再現できない!!
オールドオブリクエットシェイプのヘッドは、プレイヤーのネックにジャストフィット。
COMFORT CONTOURED BODY
オールド材の中心部には、丸味の高さを保つために、オールド材の丸味を再現した。

▲70年代のカタリにフィットする、木製にカットされたトップ。1953年 Leo Fender によって設計された Comfort Contoured Body だ。フェルナンデスは、このオールドシェイプを再現。特に仕上げた1954年8月生産のボディシェイプを参考に、ヘッドワークの丸味を再現する。オールドオブリクエットシェイプのバックは、シミュレーションのカタリと一体化し、スムーズなプレイを約束している。Leo Fender が始めた世の中に売り出した、70年代から、基本ボディに21%の丸味を再現した。テクニカルネックの長さ、また、プレイヤーのセッティングに JUST FIT するよう自由なネックの調整が可能だ。また、自分の好みのネックを仕上げた。このように、二重にも可能な。フェルナンデスは、この基本ボディを受け、ボディのネックのバランスを考えた。ローズ材は、ネックのバネを考えた。ローズ材は、ネックのバネを考えた。ローズ材は、ネックのバネを考えた。ローズ材は、ネックのバネを考えた。

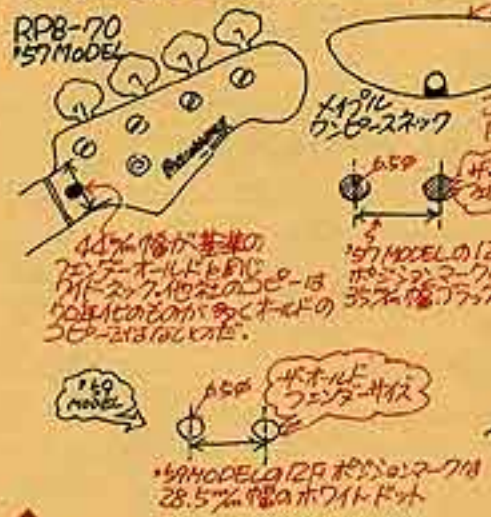
▲70年代のカタリにフィットする、木製にカットされたトップ。1953年 Leo Fender によって設計された Comfort Contoured Body だ。フェルナンデスは、このオールドシェイプを再現。特に仕上げた1954年8月生産のボディシェイプを参考に、ヘッドワークの丸味を再現する。オールドオブリクエットシェイプのバックは、シミュレーションのカタリと一体化し、スムーズなプレイを約束している。Leo Fender が始めた世の中に売り出した、70年代から、基本ボディに21%の丸味を再現した。テクニカルネックの長さ、また、プレイヤーのセッティングに JUST FIT するよう自由なネックの調整が可能だ。また、自分の好みのネックを仕上げた。このように、二重にも可能な。フェルナンデスは、この基本ボディを受け、ボディのネックのバランスを考えた。ローズ材は、ネックのバネを考えた。ローズ材は、ネックのバネを考えた。ローズ材は、ネックのバネを考えた。ローズ材は、ネックのバネを考えた。

★ザ・アメリカンピルダ
オールドサウンドの再現は、'54-'64の間に Leo Fender は、モデルチェンジのために、数々のモデルを生んだ。フェルナンデスに、ピルダシリーズ '54 MODEL、'57 MODEL、'59 MODEL、'64 MODEL を8年間使用したボディ材がオールド材を代表する。ピルダ材は、(アジャスター、フェルナンデスのように)2Uだ。このピルダ材は、重量、密度、硬さ、そして、加工機の丸味は、センターと比べると、持ちが異なる。このように、セッティングが、シヤウトは、ピルダ材は、丸味が少ない。そして、キタ材は、丸味を再現する。このように、セッティングが、シヤウトは、ピルダ材は、丸味が少ない。そして、キタ材は、丸味を再現する。このように、セッティングが、シヤウトは、ピルダ材は、丸味が少ない。そして、キタ材は、丸味を再現する。

The Revival Bass Guitars RJB & RPB Series.

★オールドプレジジョンは「ワイドネック」が決め手だ!!

プレジジョンベースは現在も、およそ450のモデルがラインアップされている。1954年に誕生したのが現在のプレジジョンベースのスタンダードな「ワイドネック」のボディ。このボディは、54年に2回目のマイナーチェンジが行われ、その時に現在の「プレジジョン」のComfort Contoured Bodyが採用された。そして1957年、Leo Fenderに3回目の変更が行われ、現在のプレジジョンベースの地位を不動のものにした。



このP.U.、ソフトタイプが「Comfort Contoured Body」にフィットする。ヘッドストックは、ワイドネックも現在のワイドネックの幅に合わせられた。ワイドネックは、オールドプレジジョンベースが頂点を極めた時代、ワイドネックの「ワイドネック」の57 MODELと59 MODELに採用された。このワイドネックのオールドモデルをRPB-70に完璧に再現したのだ。

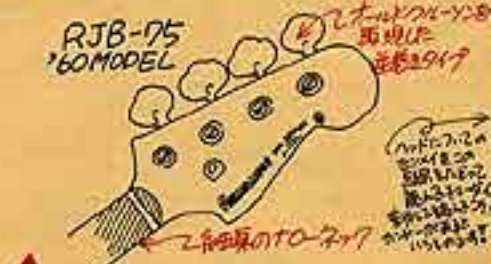


RPB-70 オールドプレジジョンの最大特長は、ワイドネックの幅が、ワイドネックの幅に合わせられた。ワイドネックは、オールドプレジジョンベースの幅に合わせられた。ワイドネックは、オールドプレジジョンベースの幅に合わせられた。

ワイドになるためのワイドネックの幅が、ワイドネックの幅に合わせられた。ワイドネックは、オールドプレジジョンベースの幅に合わせられた。ワイドネックは、オールドプレジジョンベースの幅に合わせられた。

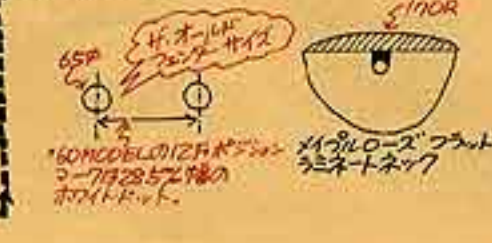
★オールドワイドプレジジョンベースの糸巻がヘッドストックをきりりとひきしめる。

現在のO-15 Precision Bassは、54年に2度目のマイナーチェンジが行われ、その時に現在の「プレジジョン」のComfort Contoured Bodyが採用された。そして1957年、Leo Fenderに3回目の変更が行われ、現在のプレジジョンベースの地位を不動のものにした。

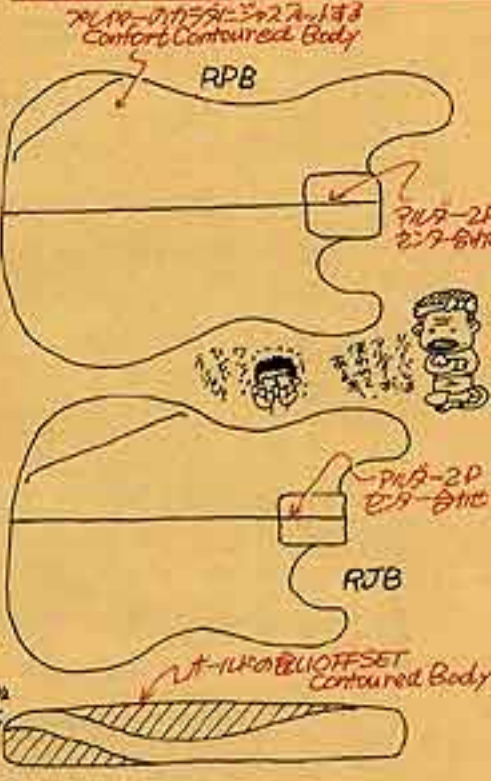


ワイドになるためのワイドネックの幅が、ワイドネックの幅に合わせられた。ワイドネックは、オールドプレジジョンベースの幅に合わせられた。ワイドネックは、オールドプレジジョンベースの幅に合わせられた。

Jazz Bass 60 MODELのワイドネックは、ワイドネックの幅に合わせられた。ワイドネックは、オールドプレジジョンベースの幅に合わせられた。ワイドネックは、オールドプレジジョンベースの幅に合わせられた。



★オールドの代表的素材「アルダー」を使用! オルターはワイドネックの決め手だ!!



RPB/RJBには、オールドの代表的素材「アルダー」が使用されている。オールドのワイドネックは、ワイドネックの幅に合わせられた。ワイドネックは、オールドプレジジョンベースの幅に合わせられた。ワイドネックは、オールドプレジジョンベースの幅に合わせられた。



★オールドワイドプレジジョンベースの糸巻がヘッドストックをきりりとひきしめる。



ワイドになるためのワイドネックの幅が、ワイドネックの幅に合わせられた。ワイドネックは、オールドプレジジョンベースの幅に合わせられた。ワイドネックは、オールドプレジジョンベースの幅に合わせられた。

ワイドになるためのワイドネックの幅が、ワイドネックの幅に合わせられた。ワイドネックは、オールドプレジジョンベースの幅に合わせられた。ワイドネックは、オールドプレジジョンベースの幅に合わせられた。



★ワイドプレジジョンベースの糸巻がヘッドストックをきりりとひきしめる。



ワイドになるためのワイドネックの幅が、ワイドネックの幅に合わせられた。ワイドネックは、オールドプレジジョンベースの幅に合わせられた。ワイドネックは、オールドプレジジョンベースの幅に合わせられた。

